

令和7年度

基礎探究B ガイダンス



生徒用

学びを楽しむ

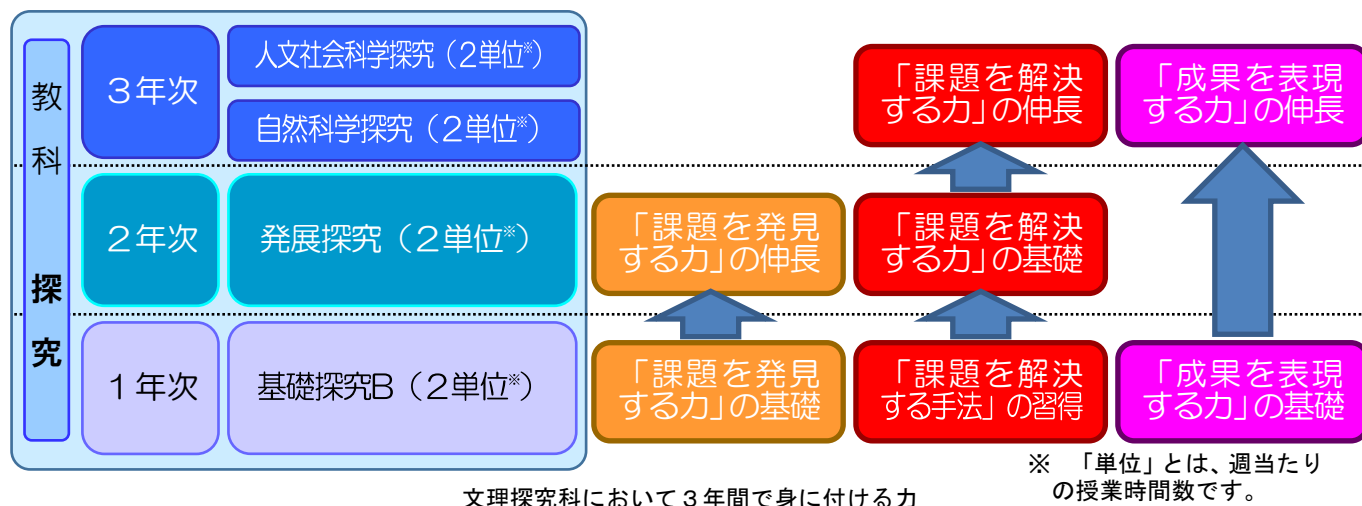
山口県立下関西高等学校

も く じ

1	シラバス	2
2	年間実施計画及び発表に向けた準備等 文理探究科1年「基礎探究B」(2単位)実施計画 発表に向けた準備 文理探究科1年次生の主な行事	9
3	基礎探究Bの評価について 評価の種類と評価方法 ルーブリック評価表 (活動評価、研究レポート・講演会ワークシート評価、課題発表評価)	12
4	振り返りシート・配布物等 探究活動を行う上での注意事項 振り返りシート アドバイスシート	16

1 シラバス

教科「探究」では、3年間の学習を通して、「課題を発見する力」「課題を解決する力」「成果を表現する力」の三つを身に付けることを目標としています。「基礎探究B」「発展探究」「人文社会科学探究」「自然科学探究」において知識や技能を身に付けることにより、将来、社会に存在する様々な事象から課題を発見し解決するために必要となる力を身に付けましょう。



(1) 基礎探究B

「基礎探究B」では「課題を発見する力」と「成果を表現する力」の基礎を身に付けるとともに、「課題を解決する手法」の基礎を習得することを目標としています。3年間にわたって取り組む探究活動を進める上で必要な知識や技能、教養を深めるとともに、グループのメンバーと協力して課題解決を進めるため、意見をまとめる力や表現力、情報活用力を身に付けます。さらに、将来グローバル人材として国際社会で活躍できるようになるため、英語によるディベートなど、英語を実践的に活用する方法を学びます。

ア おもな内容

(ア) 体験学習・講演会

地域の施設を訪問し、地域の課題に気付くとともに、大学など研究者から様々な分野の講話を聴くことにより、課題を発見する力を向上させ、解決する手法を身に付けます。

(イ) 情報活用

2年次の発展探究で必要となる、情報の活用方法を学ぶとともに、プレゼンテーションの技術等を向上させます。

(ウ) リレー探究

様々な教科・科目の学習で身に付けた知識や技能を基に、提示されたテーマについて探究します。同じテーマであっても、教科・科目によって取り上げられ方に違いがあります。この活動を通して、物事を多面的に見ることが必要であることを学びます。

イ 留意すること

さまざまな場面で人の話を傾聴し、グループで意見をまとめ、発表する機会が多くあります。講義においてはもちろんのこと、普段から「不思議」と思うことはなにか考えながら意見を傾聴してください。そして自分で「考える」ことに挑戦しな

がら、疑問を解決していきましょう。なお、レポート等様々な課題が課されます。提出期限を厳守してください。

(2) 発展探究

「発展探究」では、「課題を発見する力」を伸長させるとともに、「課題を解決する力」の基礎を身に付けることを目標としています。このため、私たちの身の周りにある様々な事物・現象から課題を発見し、発見した課題をグループで解決します。1年次に身に付けた、課題解決力、情報活用力・コミュニケーション力を駆使して、設定した課題を深く掘り下げ研究することにより、これらの力をより一層向上させるとともに、他者の意見を聴く力や自身の考えをまとめ表現する力を伸長させます。また、グローバル社会で活躍する人材に求められる英語力を向上させるため、大学などを訪問し留学生と交流します。

ア おもな内容

(ア) 課題研究

同じ研究班のメンバーと設定した課題を解決するため、仮説を立て、調査、観察、実験等を計画的に行い、結果を検証・考察し、結論を導きます。9月の中間報告会で研究の進捗状況を報告するとともに、1月末には校内発表会を開催します。こうした発表会等では、大学等の先生方から助言をいただいたり、生徒同士でディスカッションを行ったりして、研究を深めていきます。

(イ) 体験学習

大学を訪問し、留学生と交流します。これにより、英語を活用する力を実践的に向上させるとともに、海外で行う校外研修等に備えます。

イ 留意すること

研究班のメンバーと協力しながら、調査、観察、実験の結果を基にして課題を解決することが重要です。普段の学習とは異なり、「課題」に対して決まった答えはありません。研究班のメンバーとアイデアを共有し、「協働する」ことを意識しながら、みなさん自身でオリジナルな答えを導き出しましょう。なお、スライドの作成や研究要旨、論文、ポスターの作成等が課されます。提出期限を厳守してください。

(3) 人文社会科学探究・自然科学探究

「人文社会科学探究」「自然科学探究」では、「成果を表現する力」を伸長させるため、2年次の発展探究の授業において取り組んだ課題研究の成果を基にして、学校外で行われる様々な課題研究発表会や論文コンテストに参加します。さらに、1・2年次に身に付けた「課題を解決する力」をより一層向上させるため、各教科・科目で課題解決的な学びに取り組みます。

ア おもな内容

(ア) 発表活動

2年次に取り組んだ課題研究の成果を基にして、ポスターの作成や、英語による研究要旨の作成等に取り組みます。こうして作成した成果物を基にして、学校外で開催される課題研究発表会や論文コンテストに参加します。

(イ) 課題解決学習

各教科・科目で課題解決学習に取り組むことにより、将来必要となる課題解決力をより実践的に向上させます。

(ウ) 情報活用

情報について理解を深め、情報活用力の向上を目指します。

イ 留意すること

1・2年次に取り組んだ課題解決力をより一層高め、実践的に活用する方法を身に付けることを目標としています。探究科の集大成の科目であることから、仲間と協力して、学習に積極的に参加しましょう。

(4) 発表会等

ア 探究学習生徒研究発表会

本校で取り組む探究学習を保護者の方々や地域の皆さんに披露するため、探究学習生徒研究発表会を開催します。本発表会では、1年次の「基礎探究」や2年次の「発展探究」で学んだ成果及び普通科の1・2年次生がNCAで取り組んだ課題研究の成果を発表します。

イ 学校外で開催される課題研究発表会や論文コンテスト

2年次の3月には、県内の探究科、理数科及び英語科等の生徒が集まり、課題研究の成果を発表する探究学習成果発表大会が開催されます。この発表会には、探究科の2年次生から選ばれた、代表が発表します。さらに、2年次末から3年次にかけて大学や学会等が主催する課題研究発表会や論文コンテストにも参加します。こうした課題研究発表会等に参加した際には、発表することはもとより、全国の高校生と積極的に交流しましょう。

探 究 シラバス

教科	科目	学年	学科	単位数	授業形態
探 究	基礎探究B	1 年	探究科	1 単位	講義・演習・発表
使用教科書 (発行所)	課題研究メソッド 2nd Edition (新興出版啓林館)		副教材 (発行所)		

学 習 計 画

学 期	授 業 内 容 (単元・教材等)	学習上の留意点等
1 学 期	西高海峡ディスカバリー (オリエンテーション) 西高海峡ディスカバリー発表準備 教科「探究」ガイダンス	「探究活動」の目的を理解し、協働して課題解決に取り組む資質や能力を身に付ける。 1 年間の活動の目的と学習内容を理解する。知識を深め、自分の興味・関心に気付くとともに、表現力を向上させる。
	中間考査 (実施しない)	
	進路探究 西高海峡ディスカバリー発表会 リレー探究	- 進路に関する情報をもとに、今後の進路選択の参考にする。 - さまざまな形態の情報を統合化して、わかりやすく表現するための知識と技能を身に付ける。
	期末考査 (実施しない)	
2 学 期	【夏季休業】 夏休みディスカバリープロジェクト 夏休みディスカバリープロジェクト発表準備 発展探究中間報告会参観	- 地域の施設を訪問し、自ら課題を見つける。 - 夏休みディスカバリープロジェクトの成果をポスターにまとめ発表する。「課題を発見する力」「成果を表現する力」を向上させる。 - 探究科の2年次で取り組む発展探究の中間報告会を参観することにより、課題研究の取組方を学ぶとともに、「成果を表現する力」を向上させる。
	中間考査 (実施しない)	
	大学訪問 (終日) キャリアセミナー	- 各選択講座において探究活動の基礎を学ぶ。 - 大学において講義や実習を体験することにより、「課題を発見する力」を向上させる。 - 将来、活躍する姿を思い浮かべながら、様々な職種について理解を深める。
	期末考査 (実施しない)	
3 学 期	各講演会	さまざまな分野の講演を聴き、論理的な思考力・判断力・表現力を身に付ける。
	【冬季休業】	
	発展探究校内発表会参観 発展探究の準備	探究科の2年次生が取り組んだ発展探究の発表会を参観することにより、課題研究の意義に気づき、来年度の研究内容について考える。
	学年末考査 (実施しない)	
	発展探究テーマ決定	発展探究に向けての準備を行う。
	【春季休業】	

評価方法

教科基礎、講義、研究発表会等における取り組みの状況や提出レポート、提出物・発表等の成果を踏まえ、総合的に評価する。

2 年間実施計画及び発表に向けた準備

令和7年度 探究科1年次「基礎探究B」（1単位）実施計画

実施曜日など：金曜日6限

学期	月	日	曜	時数	内容	実施場所	備考
1	4	14	月	行事	西高海峡ディスカバリー	唐戸地区	行事
		18	金	1	オリエンテーション	旭陵館	
		25	金	2	海峡ディスカバリー発表準備	各HR教室	
	5	9	金	3	進路講話	体育館	
		16	金	4	海峡ディスカバリー発表準備	各HR教室	
		23	金	5	海峡ディスカバリー発表練習	旭陵館	
		30	金	6	海峡ディスカバリー発表会	旭陵館	
	6	6	金		旭陵祭準備		行事
		13	金	7	進路講演会		
		20	金	8	進学のしおり・夏休みディスカバリープロジェクト希望調査	旭陵館	
		27	金		1学期末考査		
	7	4	金	9・10	リレー探究	旭陵館	
		11	金		7月4日（金）7限 授業変更		
	8	5	火	行事	夏休みディスカバリープロジェクト	各施設	行事
		6	水	行事	夏休みディスカバリープロジェクト	各施設	行事
				行事	大学セミナー		行事
2	8	29	金		火曜日課		
	9	5	金	11	夏休みディスカバリープロジェクト発表準備	各HR教室	
		12	金		9月18日（木）4限 授業変更		
		18	木	12・13	発展探究中間報告会（4限、5限を参観）	旭陵館	
		19	金		9月18日（木）5限 授業変更		
		26	金	14	夏休みディスカバリープロジェクト発表準備	各HR教室	
	10	3			2学期中間考査		
		10	金	15～21	九州大学訪問	九州大学 伊都キャンパス	取りきり
		17	金	22	夏休みディスカバリープロジェクト発表会（2時間）	各HR教室	
		24	金		10月17日（金）7限 授業変更		
		31	金		11月14日（金）2限 授業変更		
	11	7	金		11月14日（金）3限 授業変更		
		14	金	23～25	キャリアセミナー（3時間）		
		21	金		2学期末考査		
		28	金		2学期末考査		
	12	5	金	26	発展探究 研究班決定 リレー探究発表会説明	旭陵館	
		12	金	27	進路講演会（2時間・うち1時間はLHRを時間変更）		
		20	金		家庭学習日		
3	1	9	金	28	リレー探究発表準備	各HR教室	
		16	金		1月22日（木）4限授業変更		
		22	木	29・30	発展探究校内発表会（2時間）	旭陵館	
		23	金		1月22日（木）5限授業変更		
		30	金	31	リレー探究発表会（クラス・グループ別個人発表）	各HR教室	
	2	6	金	32	リレー探究発表会（代表者による個人発表）	旭陵館	
		13	金	33	発展探究 研究班決定	旭陵館	
		20	金		学年末考査		
		27	金		卒業式準備・予行		

※ 基礎探究Bは2単位であるが、うち1単位は情報を実施する。

発表に向けた準備

発表会等	準備内容
西 高 海 峡 ディスカバ リー発表会	西高海峡ディスカバリーで訪問した唐戸地区の施設の見学の成果をもとにして、課題の発見とその課題の解決方法を考える活動を行います。グループごとに、その成果を4分以内で発表します（4分以内で2テーマ発表するため、1テーマにつきおよそ2分です。）。
夏 休 み デ ィ ス カ バ リ ー プ ロ ジ ェ ク ト 発 表 会	4つのグループに分かれて異なる施設を訪問する、夏休みディスカバリープロジェクトの発表会を行います。この発表会では、ポスター発表を行います。なお、発表時間は5分間で、資料としてポスターを印刷した冊子を配布します。それ以外の資料の配布は厳禁です。
探 究 学 習 生 徒 研 究 発 表 会 (本校主催) (3月上旬)	本校が主催するこの発表会には、保護者の方はもちろんのこと、学校外から中学生、中・高等学校の先生方、大学の先生等が参観者として来校されます。1年次生は、夏休みディスカバリープロジェクトのポスターを用いて、ポスター発表を行います。1年間の成果を発揮する場ですので、しっかり発表してください。

文理探究科 1 年次生が関係する行事

日 時	会 場	行 事
4 月 1 4 日 (月)	唐戸地区	西高海峡ディスカバリー
4 月 1 8 日 (金)	旭陵館	ガイダンス
5 月 3 0 日 (金)	各HR教室	西高海峡ディスカバリー発表会
7 月 4 日 (金)	旭陵館	リレー探究 (2時間)
8 月 5 日 (火) または 6 日 (水) (終日)	各施設	夏休みディスカバリープロジェクト
9 月 1 8 日 (木) 4 限・5 限	旭陵館	発展探究中間報告会参観 発表会は、3 限～6 限まで
1 0 月 1 0 日 (金)	九州大学 伊都キャンパス	九州大学訪問 ※ 日程調整中
1 0 月 1 7 日 (金) (2時間)	各HR教室	夏休みディスカバリープロジェクト発表会
1 月 2 2 日 (木) 3 限・4 限	旭陵館	発展探究 校内発表会参観
1 月 3 0 日 (金)	各HR教室	リレー探究発表会 (クラス・グループ別個人発表)
2 月 6 日 (金)	旭陵館	リレー探究発表会 (代表者による個人発表)
3 月 1 4 日 (日) (終日)	体育館他	山口県立下関西高等学校探究学習生徒研究 発表会

3 基礎探究Bの評価について

評価の種類と評価方法

1 評価の種類

- (1) 「講演会・出前授業」及び「発表活動」等を、それぞれループリック評価表を用いて評価します。

評価・得点等	評価方法
「講演会・出前授業」「リレー探究」等のワークシートに対する評価 30点	出前授業やリレー探究中間報告会、校内発表会を実施した後に書いた振り返りシートなどを基にして、ループリック評価表（研究レポート・講演会ワークシート評価）を用いてします。
「発表活動」に対する評価 20点	西高海峡ディスカバリー発表会や夏休みディスカバリープロジェクト発表会、リレー探究発表会等において行った発表活動や作成した資料を評価します。

- (2) 以上の評価に「情報」の評価を加えて成績を決定します。

評価② 基礎探究 研究レポート・講演会ワークシート 評価

評価項目	評価尺度		
	(10～)9点	(8～)7点	(6～)5点
内容	大変良い	良い	普通
書式・文字数	☐ 指示ページ数・文字数等が守られている		
提出期限	☐ 提出期限と提出方法を守っている		
提出物	☐ 提出すべきものがすべて揃っている		
			(4～)3点 もう少し 未提出 満たしていなければ 各項目で1点減点
			0点

評価③ 基礎探究 課題発表評価

	評価尺度			
	5	4	3	2
評価の観点	求めているレベルを越えて達成している	求めているレベルを十分に達成している	求めているレベルを概ね達成している	求めているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる
発表態度 発表技能	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明している。説得力のあるプレゼンテーションで、聞き手を魅了している。	一部原稿を参照することがあるが、自分の言葉で発表している。言葉づかい、声の大きさ、話す速度は適切で、分かりやすい。	発表態度は原稿を見ながら話しているが、言葉づかい、声の大きさ、話す態度については、おおむね適切である。	言葉づかい、声の大きさ、話す速度が適切でない。また、終始原稿を見ながら発表し、自分の言葉で発表できていない。
質疑応答	質問者の質問意図を的確に把握し、専門的な質問にも簡潔かつ的確に答えることができる。	質問者の意図に対して、研究した内容に基づいた的確な応答をすることができ	質問内容を把握して応答することができ、伝える内容の過不足がある。	無言やあいまいな答えに終始し、質問に答えることができない。
			この項目の評価は、探究活動には適していない。	この項目の評価は、探究活動には適していない。
			求めているレベルを達成するには大きな課題がある	0 基準が該当しない

評価① 基礎探究 評価基準

評価の観点					
興味関心・探究心・協働 知識・理解・思考・判断 技能・表現		確固たる課題意識を持って、強い好奇心で活動した。 授業内容を正しく理解し、データ収集や分析を綿密に行った。 調べた資料やデータから独創的なアイデアを導き出した。			
	5	4	3	2	1
	求めているレベルを 越えて達成している	求めているレベルを 十分に達成している	求めているレベルを 概ね達成している	求めているレベルを 達成できていない が、幾分の努力が認められる	求めているレベルを 達成するには大きな 課題がある
					0
					基準が該当しない

4 振り返りシート・配布物等

探究活動を行う際の注意事項

1 基礎探究B・発展探究・人文社会科学探究・自然科学探究の授業における留意点

- ・ 普段の授業と同様に、スマートフォンや携帯電話を使用してはいけません。写真や動画を撮影する場合は、配布されているタブレットを用いてください。

2 放課後や休日の活動について

- ・ 放課後や休日に探究活動を行う場合には、担当の先生の許可を得て、担当の先生あるいは本校の先生の管理のもとで活動してください。なお、下校時刻は、放課後の部活動と同様とします。

夏季 午後7時まで（午後7時30分完全下校）

冬季 午後6時30分まで（午後7時完全下校）

- ・ 探究活動のため、部活動を欠席する場合には、必ず顧問の先生に申し出てください。無断欠席は厳禁です。なお、部活動の大会やコンクールなどの日程を踏まえて、あらかじめ活動計画を立てておくことが大切です。

3 パソコンや物品の使用について

- ・ 学校の物品を許可なく学校外へ持ち出してはいけません。
- ・ ファイル（データ・画像等）を保存する場合には、Google Driveを使用してください。ただし、Microsoft WordやPowerPointでつくったファイルは、Google Driveに保存したまま、ダブルクリックしないでください。ファイルが破損する場合があります。必ず、ダウンロードしてから使用してください。
- ・ 学校から配布されているタブレット端末にはUSBメモリを使用することができません。ファイル（データ・画像等）の移動方法を工夫してください。
- ・ Microsoft WordやPowerPoint等は、ファイルを共有して編集することができます。

4 情報モラルについて

- ・ 研究発表で使用する文書や画像については、著作権や肖像権などに十分配慮してください。
- ・ 個人情報侵害の恐れのある行動を行ってはいけません。安易に他人を撮影したり、撮影した画像等をSNSなどに投稿したりしてはいけません。

夏休みディスカバリープロジェクト アンケート調査 振り返りシート

1 年	● ② ③	【出席番号】	10の位	① ② ③ ④ ⑤	【氏名】
組	① ② ③ ④		1の位	① ② ③ ④ ⑤	
	⑤ ⑥ ⑦ ⑧			⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	

1 アンケート調査

夏休みディスカバリープロジェクトについて、次の①～④から、最も当てはまると思うものにそれぞれマークしてください。

	十分そう思う	ややそう思う	それほど知らない	まったく知らない
(1) 夏休みディスカバリープロジェクトでの研修内容は充実していましたか。	①	②	③	④
(2) 夏休みディスカバリープロジェクトの講演や実習は分かりやすいものでしたか。	①	②	③	④
(3) あなたは夏休みディスカバリープロジェクトにおいて、課題を発見することができましたか。	①	②	③	④
(4) 夏休みディスカバリープロジェクトは、これからの学習意欲の向上によい影響を及ぼしますか。	①	②	③	④
(5) 夏休みディスカバリープロジェクトは、将来の進路を考える上で参考になりましたか。	①	②	③	④

2 振り返り

本日の夏休みディスカバリープロジェクトについて、記述してください。

(1) 最も印象に残ったことは何ですか。

(2) なぜ印象に残ったのですか。理由を具体的に書いてください。

(3) 本日の活動で気づいたことを書いてください。

●提出期限：8月24日（木） 各クラスに貼ってある封筒の中に提出してください。

<生徒用>

アドバイスシート

発表した研究班を○で囲んでください。

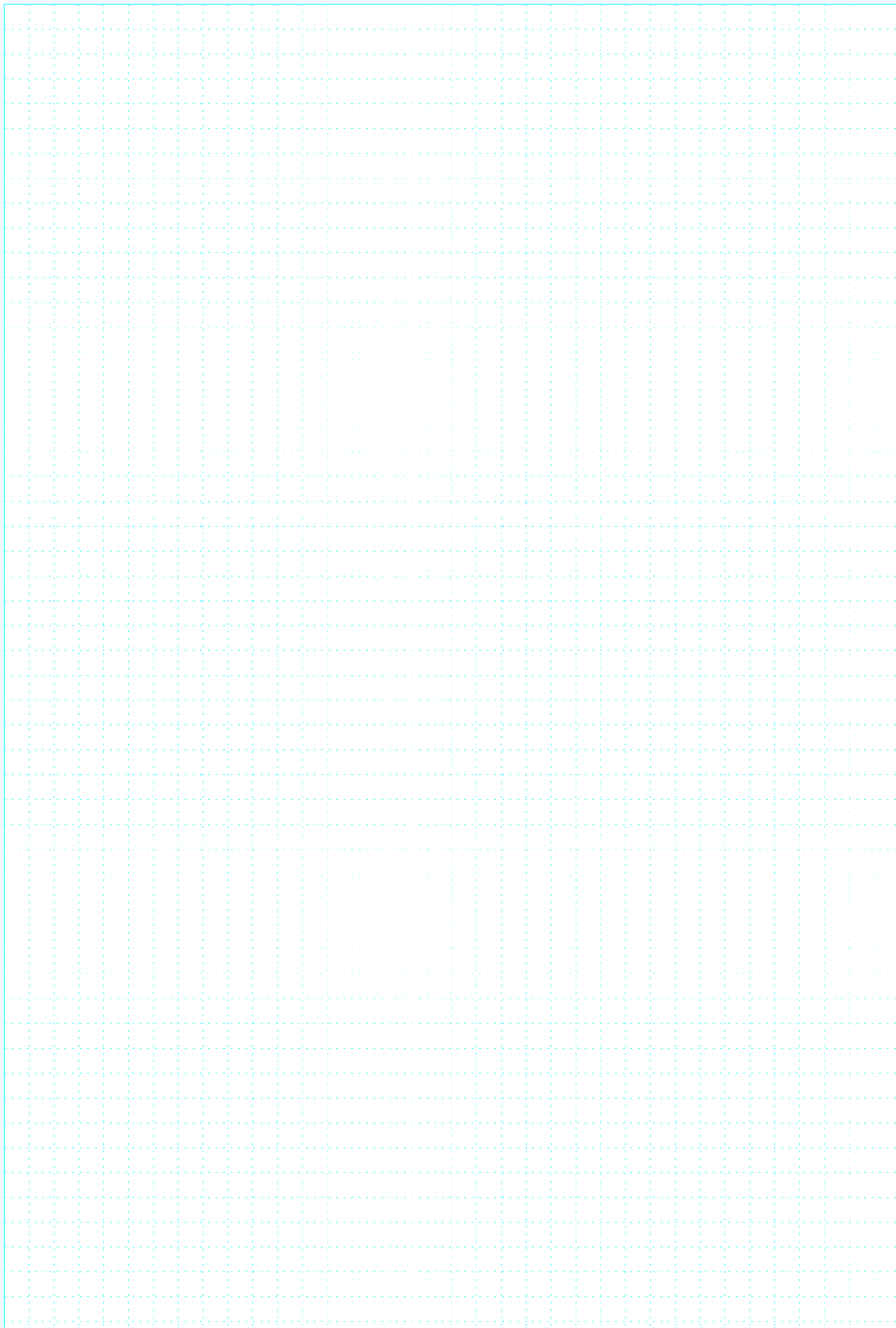
地理歴史	国語	公民	英語	化学2	保健体育	生物2
物理2	生物1	家庭	数学	化学1	物理1	

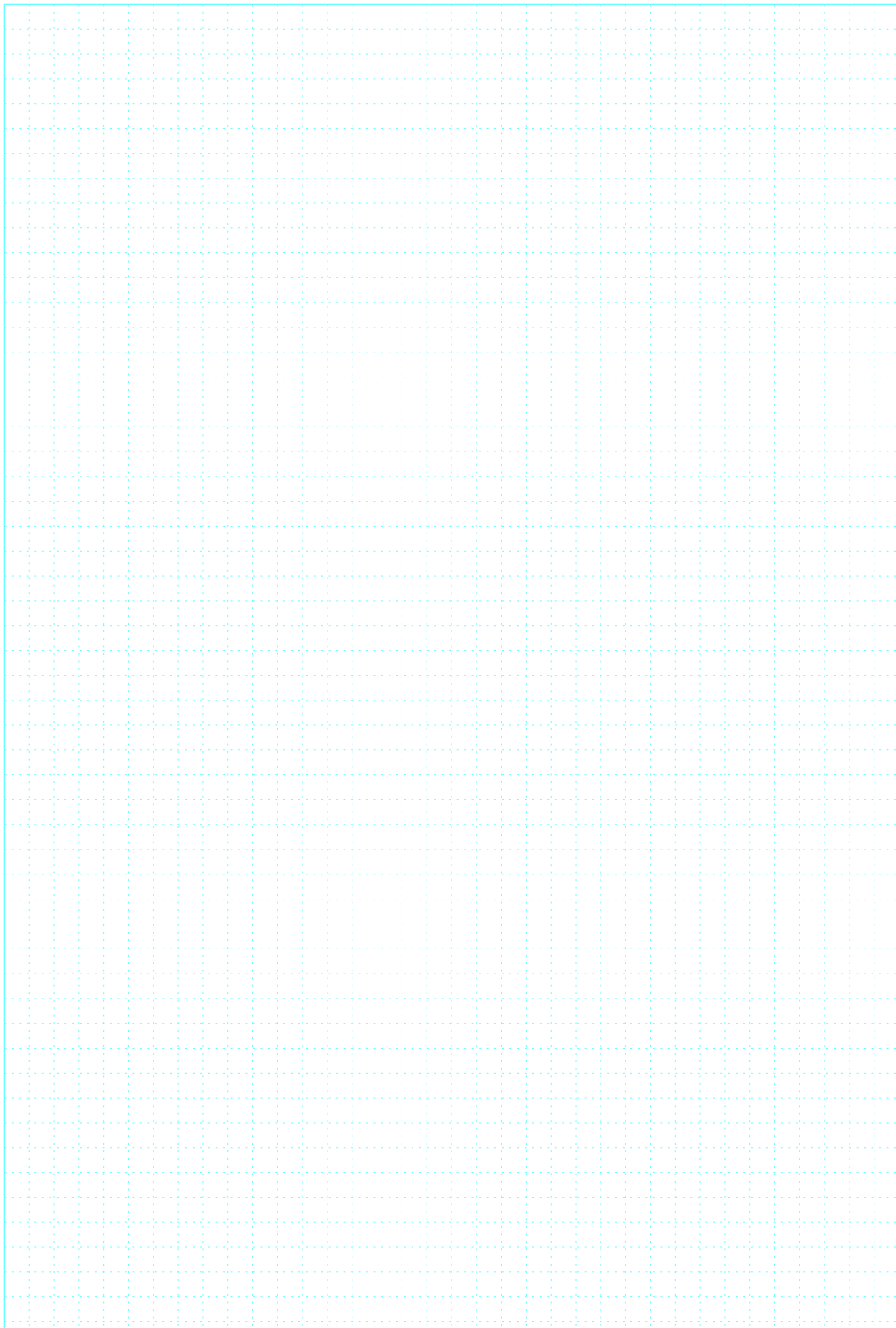
次の項目について、よかったと思うものに○をしてください。(複数可)

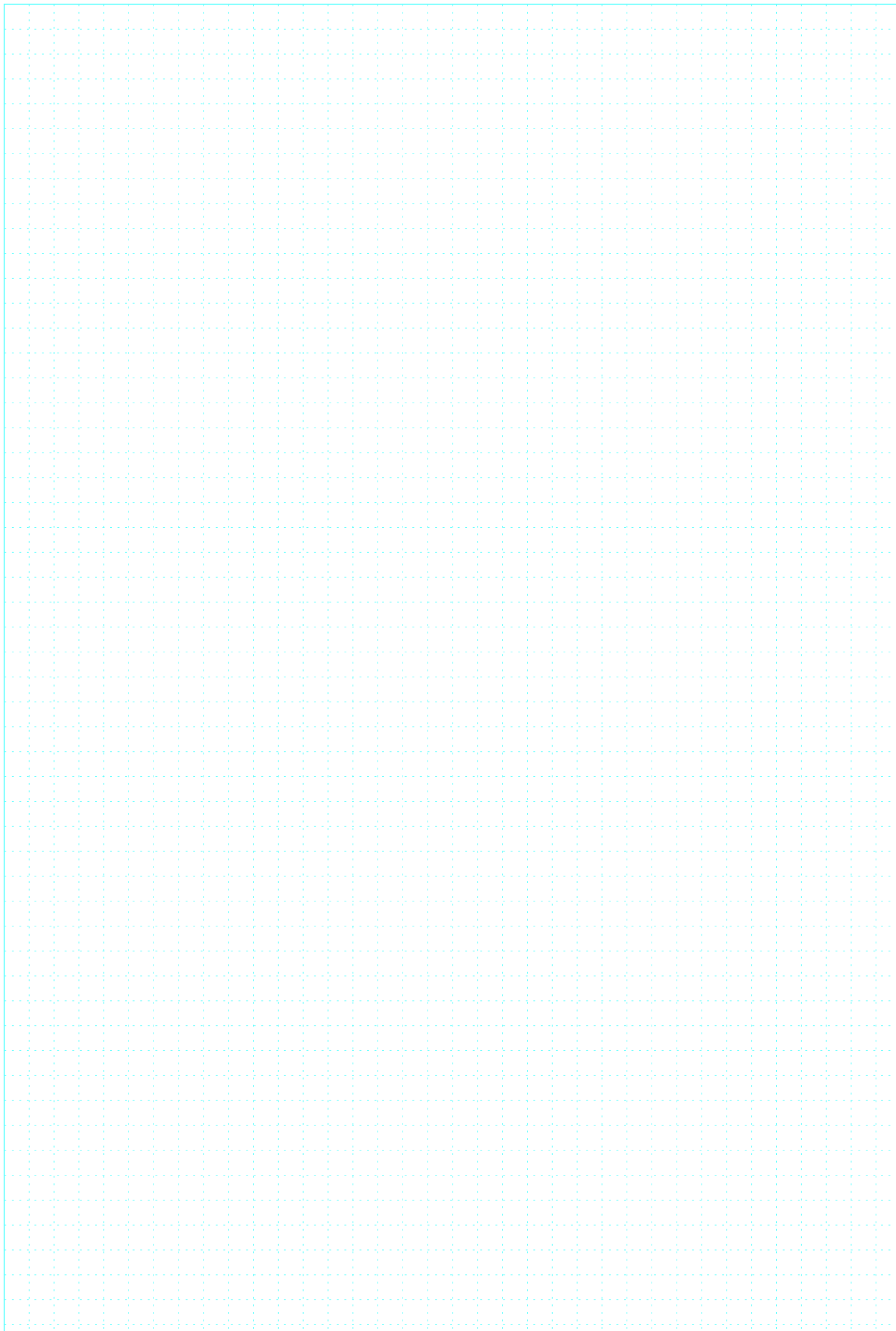
テーマの 独自性	研究方法の 創意工夫	研究の 進み具合	発表の 分かりやすさ	声の大きさ・ 発表態度

よい点や改善点、疑問点など、今後の参考になることがあれば記入してください。

--







令和7年度 基礎探究 ガイダンス

令和7年4月発行

発行 山口県立下関西高等学校

〒751-0892

山口県下関市後田町四丁目10番1号

TEL 083-222-0892

FAX 083-222-0899